

事業主側ニアリテハ會社ノ解散ハ絶對的ナリト強硬ナル態度ヲ持シ爭議團側ノ解散ヲ取消シ要求ヲ一蹴シツ、アリタルカ最近稍軟化ノ傾向ヲ有シ双方妥協スルニ於テハ敢テ初志ノ目的ヲ固執スルモノニアラスト見解ヲ有スルニ至リ今後ノ交渉ハ次第ニ好転スルニアラスヤト思料セラル、ニ至シリ

### 二、労働者側

爭議團側ハ本部ニ集合シテ労働歌ヲ高唱シテ氣勢ヲ揚テ結束ヲ固メツ、アルニ比較的穩健ニ行動シ居リ首腦部ノ意氣ヲ會社ノ經濟状態ヲ極度ニ窮乏セル事定ヲ知悉シ居リ會社解散ノ場合ハ法定ノ退職手当サハ受領シ得ルヤ否ヲ危懼シ居ル有様ニテ戦斗的ニ出テ及ツテ事態ヲ紛糾スルゴトアルヲ相当考慮シ此ノ際解散ヲ撤回セシメテ共同管理經營ニ移サント希望シ居シリ

### 三、交渉状況

五月二十四日會社總接室ニ於テ精算人宮下巖ハ爭議團代表、林主順、田中保ト會見交渉シタル結果會社側ハ若シ債權者ヲ承認スルニ於テハ強ク工場閉鎖ニ及ハス考慮ノ上最善ノ努力ヲ為スヘシト述べ今後ハ工場再開ヲ前提トシテ双方ヨリ妥協案ヲ作成シテ會見スルコト、シテ會見ヲ了シ翌二十五日引續キ會見ニ於テ爭議團側徳永正報、林主順、田中保外ニ名ト會見シ宮下ヨリ今後ハ工場再開ノコトヲ前提トシテ交渉ヲ進メタシト述べ、爭議團側ニ事業主側ノ誠意ヲ認メ相互ニ誠意ヲ披座シテ解決ニ努カスルコト、ナリタルカ具體的交渉ニ入ラスシテ會見ヲ終シリ

右及申(道)報復也